

言語学基礎講義 II

科目ナンバリング LIN-302
必修 2単位

李 英蘭

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、言語学基礎講義 I の続きで、言語学の基礎知識を基に、言葉と社会との関係を探求することを目的とする。それを「社会言語学」と言う。本授業では、言語が社会からいかに影響を受けているのか、また言語が社会にいかなる影響を与えていくのか、その関係性について、さまざまな研究実例を紹介しながら学習する。そして、自分の周りの社会現象と言葉との関係を考えてもらう。

2. 授業の到達目標

- ①言語と社会との関係性についての理解を深める。
- ②学習者の周りの社会現象と言語との関わりを考える。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況・授業参加度・小テスト・課題・及びレポートなどを総合して評価する。
平常点:30%(出席・授業参加度・小テスト・課題) 中間レポート:30% 期末テスト:40%

4. 教科書・参考文献

教科書

岩田裕子、重光由加、村田泰美 概説社会言語学 ひつじ書房(2013)

参考文献

南雅彦

東照二 社会志向の言語学

社会言語学入門(改訂版) くろしお出版(2017)
研究社(2020)

5. 準備学修の内容

各回の授業内容を確認し、教科書の該当ページを読んでくること。

6. その他履修上の注意事項

- ①授業には積極的な参加すること。
- ②授業中に出されるトピックについてしっかり考えること。
- ③欠席・遅刻しないこと。(原則として3回以上欠席した場合は、成績評価の対象から除外する。なお、30分以上の遅刻は出席として認めない。)
- ④期末試験未受験の場合は、成績評価の対象から除外する。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス(オンライン)
【第2回】	社会言語学とは
【第3回】	言語と地域
【第4回】	言語と社会階層
【第5回】	言語と民族
【第6回】	言語とジェンダー
【第7回】	言語と年齢
【第8回】	言語の選択
【第9回】	言語の状況差、適切さ
【第10回】	ボライタネス
【第11回】	会話のしくみ
【第12回】	社会言語学と異文化コミュニケーション
【第13回】	さまざまな会話のスタイル
【第14回】	まとめ(オンライン補講)
【第15回】	期末試験

※この授業内容はあくまでも予定であり、変更されることもある。